



代表理事組合長

大場 勉

専務理事

三上 隆基

理事金融共済部長

花田 敏幸

理事総務委員長

福島 憲一

理事りんご委員長

花田 勇人

理事総務兼りんご委員

田澤 俊則

理事総務兼りんご委員

溝江 徹

代表監事

藤田 伸

監事

山内 知人

員外監事

岩谷 健

他職員一同

謹賀新年



相馬村農業協同組合

代表理事組合長 **大場 勉**

新年あけましておめでとございます。
組合員及び地域住民の皆様とともに輝かしい
新年を迎えられたことに謹んでご祝詞を申し上
げます。

日頃より農協の各事業におきましては、格別
なるご理解とご協力を頂き、厚くお礼申し上げ
ます。

さて、昨年を振り返ってみますと、平成から
令和へと新しい時代が始まり、新天皇の即位に
国民が歡喜しました。そのような中、9月の台
風15号が首都圏を直撃。その後も度重なる台風
襲来など、大雨による洪水被害で甚大な自然災
害が発生した年でありました。被害を受けられ
た皆様に心よりお見舞い申し上げます。

国内経済は、緩やかに回復しているとされる
ものの、長引く低金利政策の出口は見えず、金融
界を中心に今後更なる影響が避けられない状況
が続く、さらに10月より消費税が増税されたこ
とにより景気回復には不透明な面が見られます。

一方、農業を取りまく情勢については、就農
人口の減少や生産農家の高齢化、後継者不足に
よる耕作放棄地の増加等の諸問題に直面してい
る中、元気な地域と農業をめざして「元気な農
業への発進」「豊かな暮らしへの発進」「組織・
経営基盤の強化」の実現にむけ、自己改革に取
組んでいるところです。

このような中、当JAの主力作物である、り
んごについては春先の天候に恵まれ、順調に生
育したものの、開花量が少なく、品種によって
は隔年結果がみられ、また、干ばつ傾向で推移
したため小玉傾向となりましたが、昨年多発し

た黒星病被害果や、ツル割れ果の発生は少なく
下位等級品の発生率が少ない年となりました。
当JAの入庫数量は652,308箱（前年比
86%）と近年にない減収の年となりました。

また、稲作については生育期間中全般に好天
に恵まれたことにより、自主流通米5,490
俵（前年比126%）という実績となりました。

りんごの販売については、早生種のつがる及
び早生ふじについては全国的に流通量が少なく、
概ね順調な販売となりましたが、トキについては
は香港情勢の悪化や、前半の食味不良により輸
出向けが低迷し、国内出荷比率が高まったこと
から価格が低迷しました。

主力のサンふじについては、流通在庫が少な
いことに加え、他県産の品質内容が悪いことや、
競合する柑橘類が裏年で品質内容が悪いことか
ら堅調な価格でのスタートとなりました。年内
は国内贈答、春節向け輸出需要が最盛期となり、
越年在庫は大幅に下方修正される見通しであり
ますが、消費宣伝による売り場の確保と高値販
売に取組んでまいります。

近年、農業生産基盤が急速に脆弱化してい
くことが強く懸念される中、組合員の期待に
応えるとともに、地域に根ざした組織として、組
合員ならびに地元の皆様から愛されるJA相馬村
をめざし、役職員が一丸となって取組んでま
いりますので、より一層のご理解とご協力をお願
いします。

本年は大きな災害の無いことと、組合員及び
地域住民の皆様が健やかで笑顔に暮せることを
願い新年のあいさついたします。